

各交通モードの年度別輸送実績

九州運輸局
令和3年8月26日

運輸と観光で九州の元気を創ります

<お問い合わせ先>
九州運輸局交通政策部交通企画課
辻、時任
電話：092-472-2315
国土交通省九州運輸局HP
<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>



九州運輸局

九州運輸局管内の輸送実績の動向

- 令和2年度の輸送実績について、上半期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動の自粛の影響から大きく減少した。また下半期は、Go Toトラベルや感染状況が一時落ち着いたこともあり、回復傾向がみられたが、1月からの緊急事態宣言が発令されると再び減少に転じた。
- 特に貸切バス事業、タクシー事業、旅客船事業は、新型コロナウイルス感染症による移動の自粛や飲食店の時短営業の影響を大きく受け、減少幅が大きい。また、ほかのバス事業、鉄軌道事業についても新型コロナウイルスの影響を受け、前年の7割程度にとどまっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う移動自粛の影響は現在も続いているため、令和3年度も引き続き厳しい状況が続いている。

バス事業（一般乗合バス）
3.30億人
(前年度比76.6%)

鉄軌道事業（全体）
4.87億人
(前年度比71.2%)

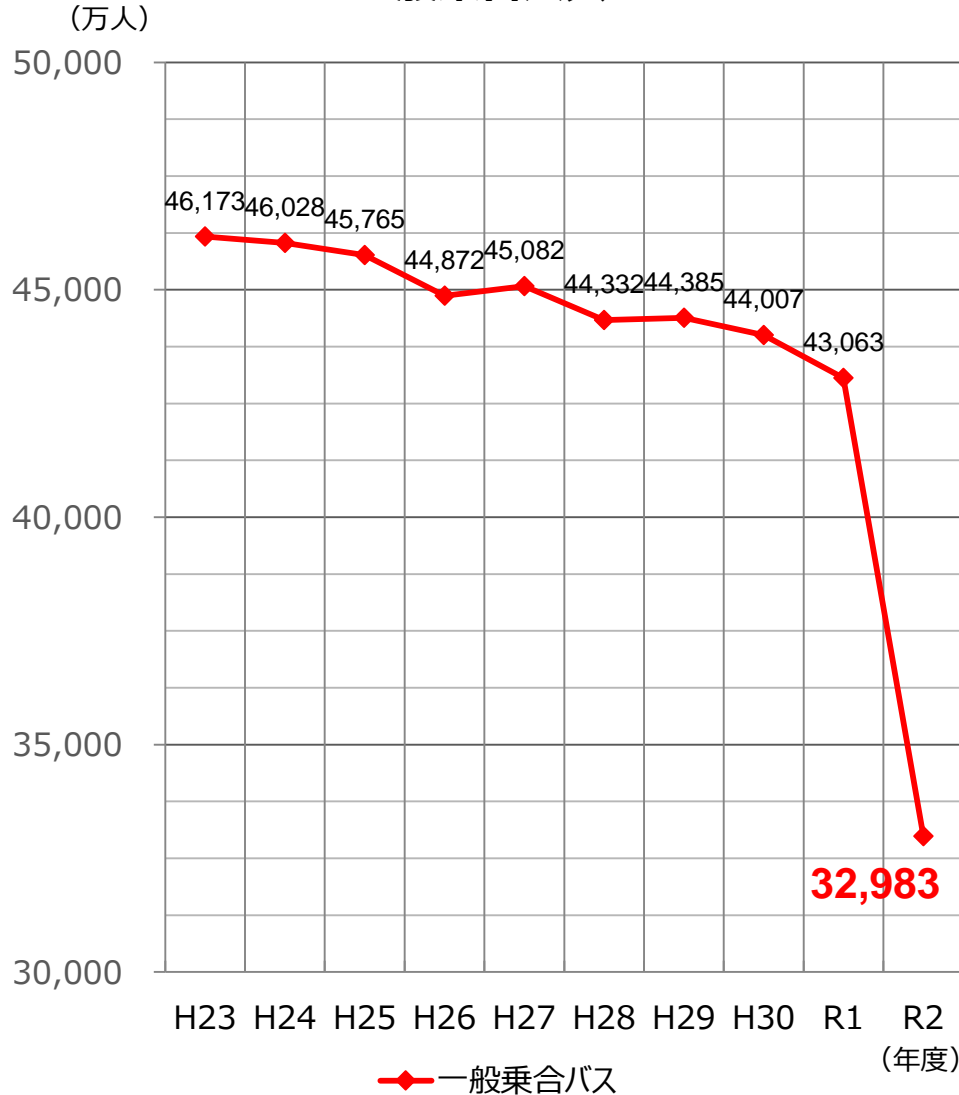
旅客船事業（長距離フェリー航路）
72万人、100万台
(前年度比46.0%、83.8%)

タクシー事業
9065万人
(前年度比60.7%)

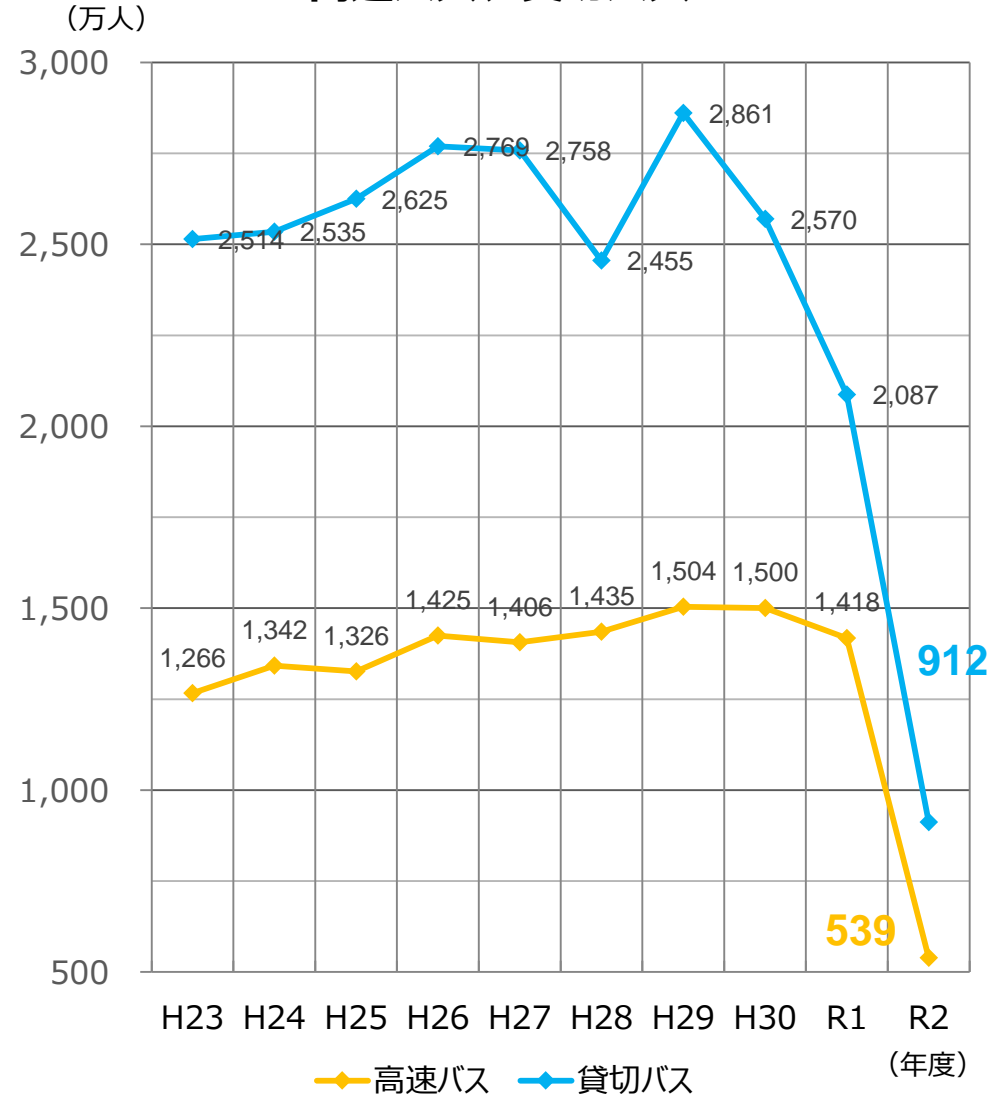
鉄軌道事業（JR九州）
2.51億人
(前年度比74.4%)

旅客船事業（主要離島航路）
174万人、21.6万台
(前年度比53.3%、84.9%)

一般乗合バス



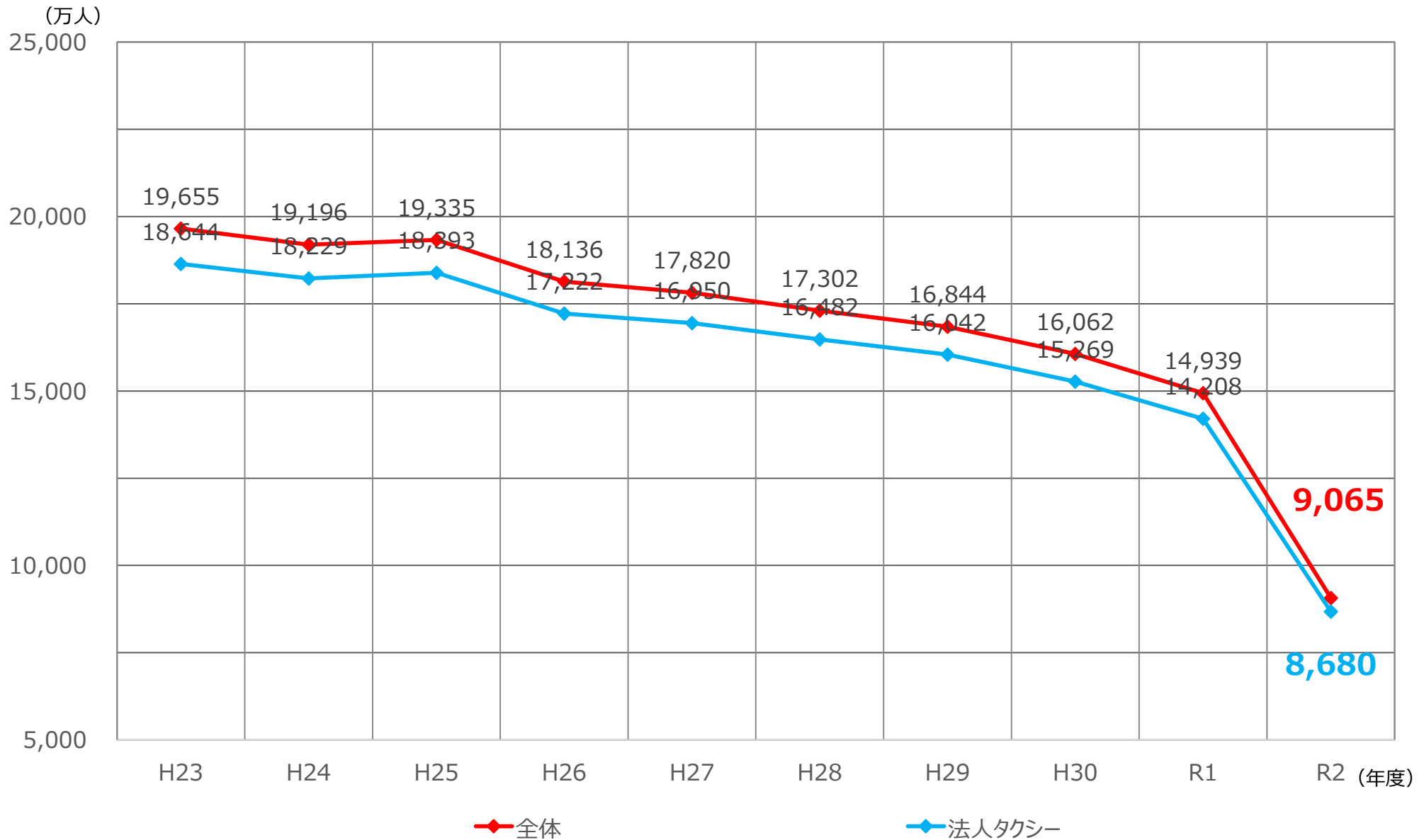
高速バス、貸切バス



※ 「一般乗合バス」とは、路線バスのうち、高速バス（高速道路を利用して、概ね50km以上走行するもの）を除いたもの。

※ R2年度の輸送実績は一般乗合バス、高速バス、貸切バスともに速報値。

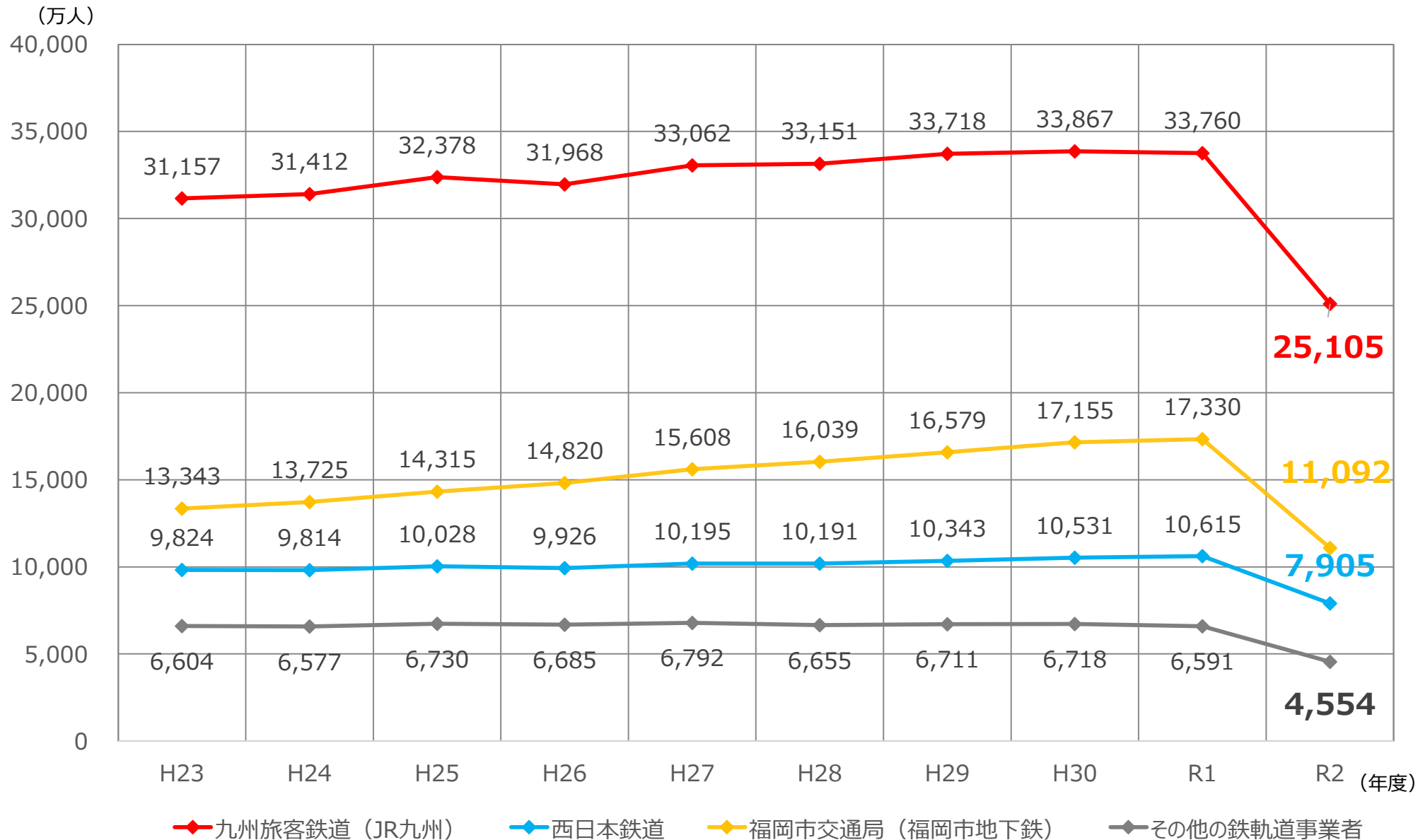
九州のタクシー事業の輸送実績



※ 「全体」には、法人タクシーの輸送実績のほか、いわゆる「個人タクシー」の輸送実績を含む。

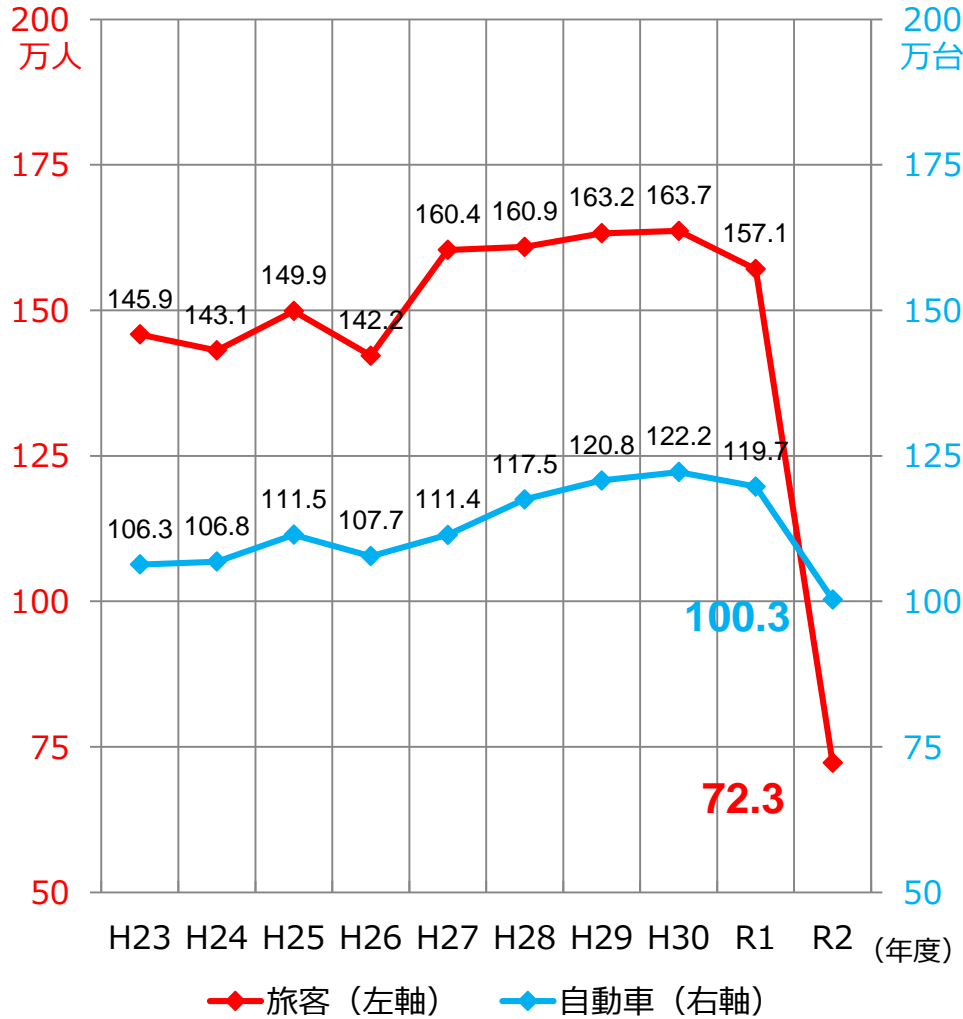
※ R2年度の輸送実績は速報値。

九州の鉄軌道事業の輸送実績

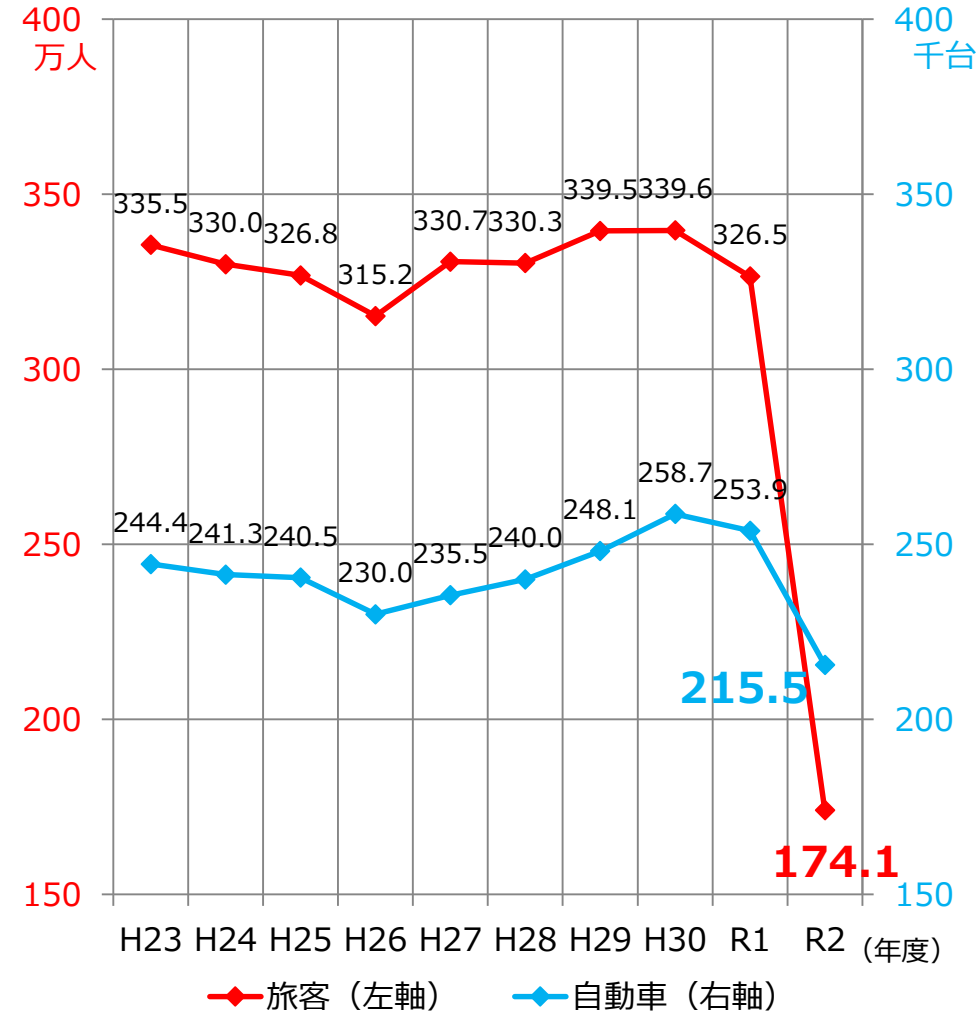


※ 「その他の鉄軌道事業者」とは、次の13社の合計値。(筑豊電気鉄道、島原鉄道、熊本電気鉄道、甘木鉄道、南阿蘇鉄道、松浦鉄道、平成筑豊鉄道、くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道、北九州高速鉄道、長崎電気軌道、熊本市交通局、鹿児島市交通局)

長距離フェリー航路



主要離島航路



※ 「長距離フェリー航路」とは、陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーで片道の航路距離が300km以上の航路をいい、阪九フェリー、名門大洋フェリー、オーシャントランス、フェリーさんふらわあ及び宮崎カーフェリーの5社8航路が該当。

※ 「主要離島航路」とは、杓岐、対馬、五島列島、甕島、種子島、屋久島、奄美群島又は沖縄本島と本土を結ぶ航路をいい、12社16航路が該当。